

# 高知県の教育

～待ったなしの教育危機への対応～



2010年1月 龍馬伝始動

平成22年10月  
高知県

# I 現状と課題

## 知

### ◇ 児童・生徒の学力は

- 平成22年度全国学力・学習状況調査の結果
  - ・ 小学校は、国語・算数ともに全国平均正答率とほぼ同じ水準です。  
⇒ 今後は、学力の二極化への対応が必要です。
  - ・ 中学校は、国語・数学ともに改善が見られるものの依然として全国水準を下回っています。  
⇒ 基礎・基本が身につけていない子どもたちがたくさんいます。

#### 【家庭学習のあり方を見直す必要があります】

- ・ 中学生の家庭学習の状況（H22全国学力・学習状況調査結果より）
  - ※ 普通学校の授業以外の勉強時間が1時間未満の生徒の割合  
高知県（41.4%） 全国（33.6%）
  - ※ 家で学校の宿題を全くしていない中学生の割合  
高知県（6.1%） 全国（4.4%）

- 県立高校から国公立大学への進学者は大きく増加したものの、一方で地域の拠点となる特色ある学校づくりが課題となっています。

## 徳

### ◇ 生徒指導上の諸問題は

- 小中学校における不登校の出現率は全国ワースト8位（平成21年度）  
暴力行為の発生件数は全国ワースト7位（平成21年度）  
高等学校の中途退学率は全国ワースト11位（平成21年度）  
⇒ 子どもたちの抱える不安や悩みは依然として解消されていません。

#### 【いじめ・不登校・暴力行為・中途退学の状況】

	いじめ認知件数(H21) (国・公・私立) 小・中・高等・特別支援学校	不登校児童生徒数(H21) (国・公・私立) 小・中学校	暴力行為発生件数(H21) (国・公・私立) 小・中・高等学校	高校生中途退学率(H21) (国・公・私立) 高等学校
高知県	1,000人当たり 2.5件(全国ワースト33位)	1,000人当たり 12.7人(全国ワースト8位)	1,000人当たり 7.7件(全国ワースト7位)	1.8%(全国ワースト11位)
全国	5.1件	11.5人	4.3件	1.7%

## 体

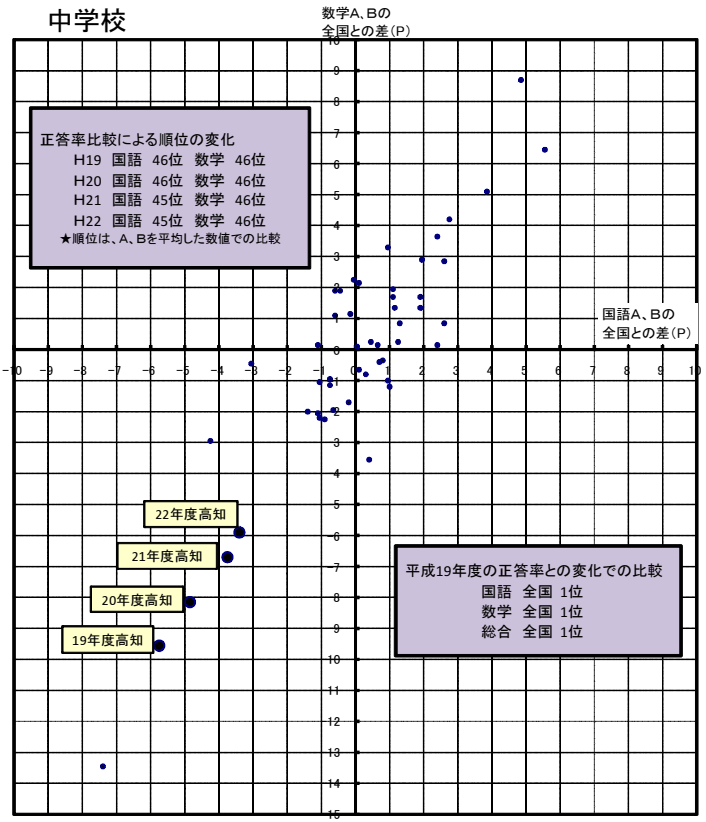
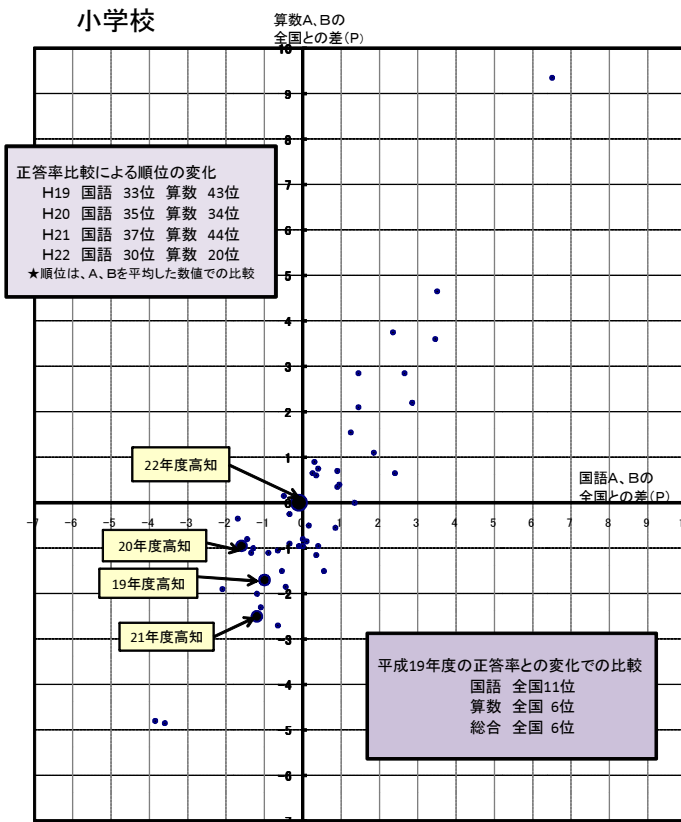
### ◇ 児童・生徒の体力は

- 平成21年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果
  - ・ 小学校男子40位（前年度47位）女子38位（前年度47位）
  - ・ 中学校男子42位（前年度45位）女子40位（前年度46位）
- ⇒ 前年度に比べ向上しているものの（小・中学校とも改善率全国第1位）、多くの項目で全国平均を下回っています。

# 児童・生徒の学力

☆ 小学校、中学校ともに改善傾向にあるが、小学校が全国平均正答率とほぼ同じ水準まで改善された一方で、中学校は依然として全国水準を下回っている状況

## 平成22年度全国学力・学習状況調査 全国平均正答率との比較



## 教科に関する調査結果の平成19～22年度との比較

### 小学校国語

		平均正答率(%)		全国と高知県の差	
		高知県(公立)	全国(公立)		
国語	A	平成22年度	82.8(82.2~83.5)	83.3(83.2~83.5)	-0.5
		平成21年度	68.5	69.9	-1.4
		平成20年度	65.0	65.4	-0.4
		平成19年度	81.7	81.7	0.0
	B	平成22年度	78.1(77.2~79.0)	77.8(77.7~78.0)	0.3
	平成21年度	49.5	50.5	-1.0	
	平成20年度	47.7	50.5	-2.8	
	平成19年度	60.0	62.0	-2.0	

### 中学校国語

		平均正答率(%)		全国と高知県の差	
		高知県(公立)	全国(公立)		
国語	A	平成22年度	72.6(72.0~73.3)	75.1(75.0~75.2)	-2.5
		平成21年度	74.2	77.0	-2.8
		平成20年度	70.0	73.6	-3.6
		平成19年度	78.1	81.6	-3.5
	B	平成22年度	61.0(60.0~62.1)	65.3(65.1~65.5)	-4.3
	平成21年度	69.8	74.5	-4.7	
	平成20年度	54.7	60.8	-6.1	
	平成19年度	64.0	72.0	-8.0	

### 小学校算数

		平均正答率(%)		全国と高知県の差	
		高知県(公立)	全国(公立)		
算数	A	平成22年度	75.3(74.3~76.3)	74.2(74.0~74.4)	1.1
		平成21年度	76.4	78.7	-2.3
		平成20年度	72.6	72.2	0.4
		平成19年度	81.6	82.1	-0.5
	B	平成22年度	48.2(47.2~49.2)	49.3(49.1~49.5)	-1.1
	平成21年度	52.1	54.8	-2.7	
	平成20年度	49.3	51.6	-2.3	
	平成19年度	60.7	63.6	-2.9	

### 中学校数学

		平均正答率(%)		全国と高知県の差	
		高知県(公立)	全国(公立)		
数学	A	平成22年度	59.5(58.3~60.7)	64.6(64.4~64.8)	-5.1
		平成21年度	56.5	62.7	-6.2
		平成20年度	54.5	63.1	-8.6
		平成19年度	62.8	71.9	-9.1
	B	平成22年度	36.6(35.4~37.9)	43.3(43.1~43.5)	-6.7
	平成21年度	49.7	56.9	-7.2	
	平成20年度	41.5	49.2	-7.7	
	平成19年度	50.6	60.6	-10.0	

※平成22年度は抽出調査のため、平均正答率の推計値で示している。( )の数値は平均正答率の95%信頼区間(95%の確率で、全員を対象とした調査(悉皆調査)の場合の平均正答率が含まれる範囲。)を示している。

## 生徒指導上の諸問題

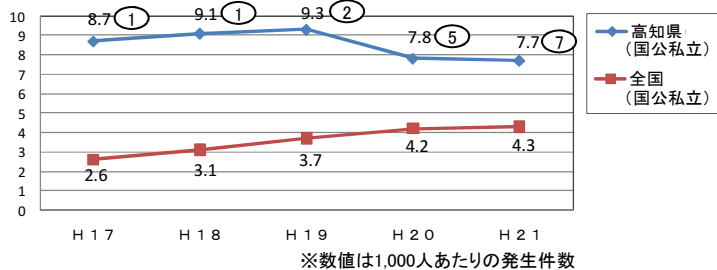
☆ 高等学校における不登校の状況を除いて改善傾向にあるが、全国と比較すると依然として厳しい状況にある。

### 児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査（平成17年度～平成21年度）

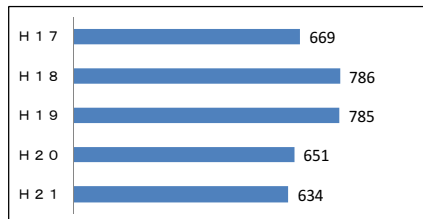
※数値横の○数字は、全国と比較した場合のワースト順位

#### ◆暴力行為(小・中・高等学校)

(暴力行為は平成17年度以前は公立のみ調査、平成18年度から国・私立が調査に加わる。)

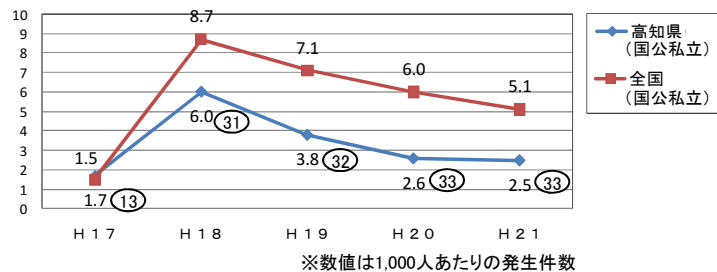


#### 暴力行為発生件数

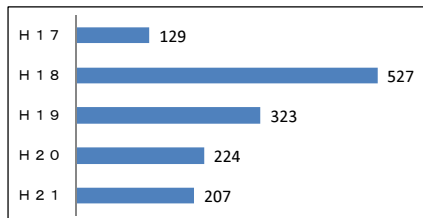


#### ◆いじめ(小・中・高・特別支援学校)

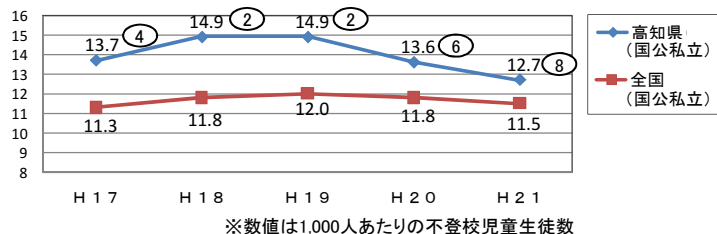
(いじめは平成18年度から、定義及び調査方法(発生件数から認知件数へ)が改定された。)



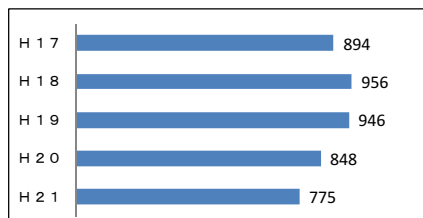
#### いじめ認知件数



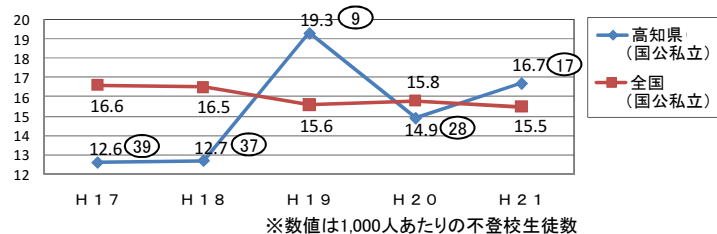
#### ◆不登校(小・中学校)



#### 不登校児童生徒数(小中学校)



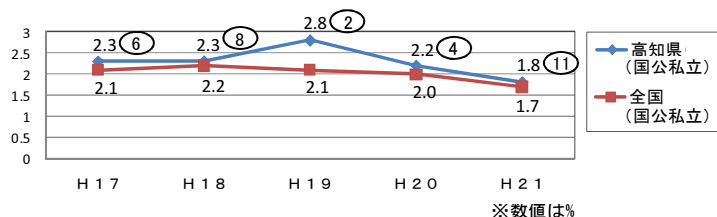
#### ◆不登校(高等学校)



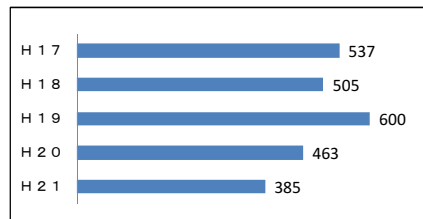
#### 不登校生徒数(高等学校)



#### ◆中途退学



#### 中途退学者数



# 児童・生徒の体力

☆ 前年度に比べ向上しているものの（小・中学校とも改善率全国第1位）多くの項目で全国平均値を下回っている状況。

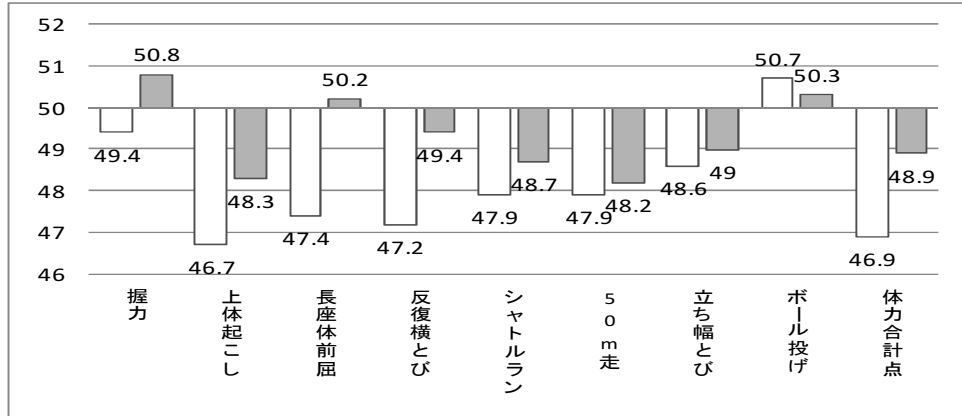
全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の比較 平成20年度→平成21年度

□ 平成20年度

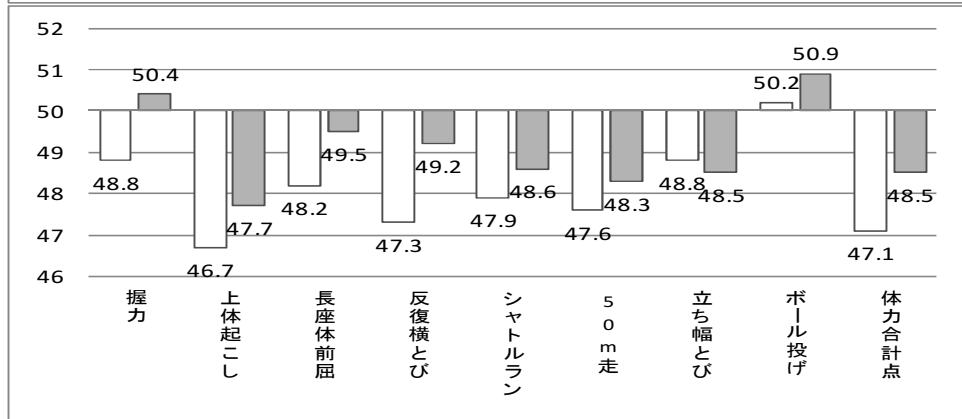
■ 平成21年度

※ 縦軸「50」が全国平均値。

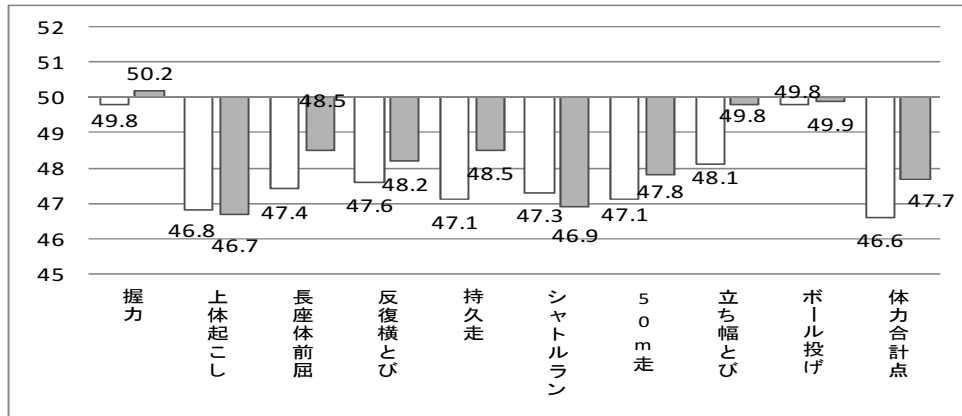
## 小学校男子 (47位→40位)



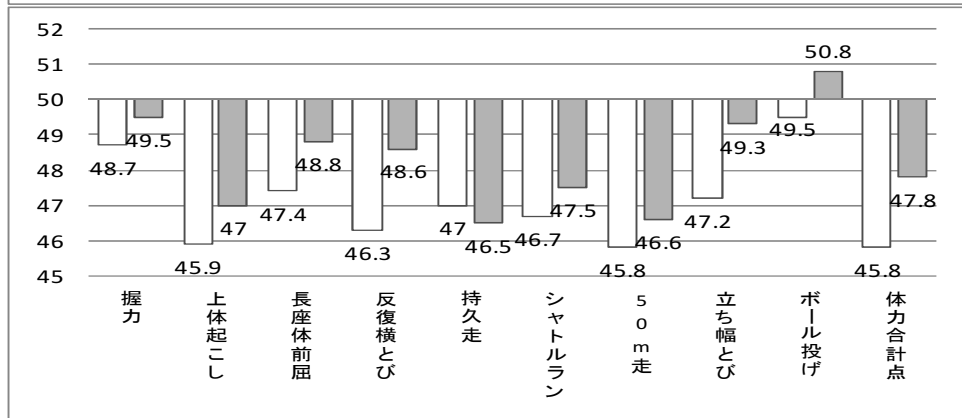
## 小学校女子 (47位→38位)



## 中学校男子 (45位→42位)



## 中学校女子 (46位→40位)



# 学力向上・いじめ問題等対策計画

(学ぶ力を育み心に寄りそう緊急プラン)

## 1. 計画策定の必要性

全国学力・学習状況調査(平成20年4月実施)結果で、特に中学生の学力が全国水準を大きく下回る全国第46位となったこと、また不登校の出現率及び暴力行為の発生率は全国ワースト2位(平成19年度)であることなど、**学力と心の問題は危機的な状況**

この問題は

子どもたちが将来に希望を持ち、これからの社会を生き抜いていく上で、学力と心の問題は、**緊急に対応し改善すべき問題**

このため

「学ぶ力を育み、心に寄りそう 緊急プラン」として、「**学力向上・いじめ問題等対策計画**」を策定

この計画では

平成20年度からの4年間の明確な目標を設定し、具体性のある「学校・学級改革」、「教員指導力改革」、「幼児教育改革」、「心の教育改革」、「放課後改革」、+(プラス)「体力づくり」の**5つの改革と体力づくりを設定**

### ☆計画期間

平成20年度～23年度(4年間)

### ☆目標

- 「基礎学力の全国最下位レベルからの脱却」に向けて  
⇒ **学力をまずは全国水準にまで引き上げる**
- 「児童生徒が落ち着いて安心して学べる環境づくり」に向けて  
⇒ **生徒指導上の諸問題の発生率をまずは全国水準にまで改善する**
- 「全国最低水準にある児童生徒の体力・運動能力の向上」に向けて  
⇒ **体力・運動能力を全国水準にまで引き上げる**

## 2. 5つの改革と体力づくりの概要

高知の子どもの未来のために さあ進めよう！「5つの改革と体力づくり」

### (主な取組)

#### ① 学校・学級改革

- 「学力向上のための学校改善プラン」に基づく支援、指導
- 高知市が行う中学生の学習習慣確立のための取組を支援
- 学習内容の単元ごとのテストの実施(算数・数学)
- 授業での個別学習支援や放課後の補充学習支援等を行う非常勤講師の配置
- 国語学習シート等による国語の家庭学習習慣定着と授業力向上の取組実施

#### ② 教員指導力改革

- 教員の自主的な教科研究活動を支援する「教科研究センター」開設
- 教科指導に優れ専門性を備えた「教科ミドルリーダー」を育成
- 学校組織におけるPDCAサイクルの確立とOJT強化に資する研修実施
- 計画的な教員採用・養成(採用説明会や教員採用勉強会開催)

#### ③ 幼児教育改革

- 親の子育て力向上への取組(親育ち支援、保育者育成等)
- 幼児教育の重要性の理解促進と、より質の高い保育・教育の推進
- 認定こども園の設置促進
- 多子世帯の保育料軽減事業の普及

#### ④ 心の教育改革

- 道徳の時間の充実や学校図書館活動活性化など「心を耕す教育」を総合的に推進
- 中学入学時におけるガイダンスや仲間づくりのための集団合宿等実施
- 児童生徒の心の状態を把握する調査「Q-Uアンケート」による教職員のカウンセリングマインドの向上
- スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、心の教育センター相談員など教育相談体制の強化

#### ⑤ 放課後改革

- 「放課後子どもプラン」(子ども教室、児童クラブ)による児童生徒の放課後における「学び場」の拡大と充実
  - ・ 指導員の配置や教材の購入等学習活動の充実を支援
  - ・ 就学援助児童等への利用料減免を促進
- 「生活リズムチェックカード」による基本的生活習慣や家庭学習の点検

#### 体力づくり

- 児童生徒の体力向上に向けた「こうちの子ども体力アップアクションプラン」の策定と普及
- プロスポーツ選手などトップアスリートによる「夢の教室」の実施
- 指導資料の作成・配付、研修会実施による小学校体育授業の充実
- 地域のスポーツ人材を活用した外部指導者の派遣

### 推進体制・進行管理

- 県プロジェクトチームの設置と市町村教育委員会等との連携・協力
- 教育委員会評価及び学校評価を通じた進行管理
- 教育版「対話と実行」座談会等を通じた県民の意見等の収集と反映
- 実施状況に応じた不断の検証・改革

### 3. 平成22年度の主要な取組例

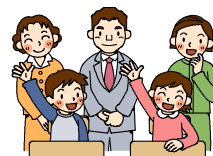
#### (1) 学校・学級改革の取組

## 学力向上に向けた取組（小中学校）

### 1 授業改善に向けた取組

#### (1) 学校改善プラン実践支援事業

- ・各学校が策定する「学力向上のための学校改善プラン」に基づく取組を支援
- ・全国学力・学習状況調査結果の分析と改善策の周知



#### (2) 【新】国語学力定着事業

全国学力・学習状況調査で明らかになった課題を改善するため、優れた文章を書き写すことや短い作文を書くことなどを通じて、漢字や言葉の知識を身に付けるとともに、まとめて書く力を育てる「国語学習シート」を作成・配付等



#### (3) 算数・数学学力定着事業

- ・学習内容のまとめり(単元)ごとのテストの配信(小学校1年生～中学校3年生)や授業や家庭学習で活用する算数・数学学習シートの配付
- ・今日的な課題を踏まえた研修の実施や授業ガイドブックの作成・配付

### 2 各学校への人的な支援

#### (1) 中学校学力向上対策非常勤講師配置事業

授業での個別学習支援や放課後の補充学習支援を行う非常勤講師の配置  
(58校)



#### (2) 教科指導エキスパート派遣事業

教員の授業に指導・助言を行う教科指導のエキスパート(退職校長等)派遣(6校)

### 3 高知市への緊急支援事業

#### (1) 中学校学習習慣確立緊急支援事業費補助金

- 高知市中学生の家庭学習習慣化に向けた取組を継続して支援
- ・予習・復習のためのプリント学習及び確認テストによる定着状況の把握
  - ・学力向上スーパーバイザー(3名)、中学校学力向上補助員(16名)による支援等



#### (2) 【新】小学校放課後学習支援事業費補助金

小学校(10校)に放課後学習室を設置し、小学校段階から家庭学習習慣化を支援



## (2) 幼児教育改革の取組

# 親育ち支援推進事業

## 背景

- 核家族化や少子高齢化の影響で、子どもへの接し方がわからなかったり、子育てに不安や悩みを抱えたりする保護者が増えている
- 乳幼児期の子どもをもつ保護者は、子どもへの期待や関心が高くなっている

## 取り組み

### ①親育ち支援啓発

- 子育て・親育ち推進監や指導主事、親育ち支援アドバイザーが、保育所や幼稚園等に出向き、教育的な観点から保護者への講話（子育てで大切にしたいこと、子どもに関わる時のポイントなど）や子育て相談を実施
- 保育者研修



### ②子育て支援アドバイザー派遣

現役の助産師さん等「子育て支援アドバイザー」が、地域の子育て支援センターに出向いて保健医療分野からの講話（幼児の心と身体の発達など）や育児相談、親子の触れ合い実技指導などを実施

### 「こうちフレマnet」

出産・育児応援サイトを開設して、子育て情報の提供や、相談、メールマガジンを配信

### ③親育ち支援保育者育成

保育所・幼稚園・認定こども園で日常的に親支援が出来る環境を整えるために、保育者の育成を行う

新規

### ④子育て・親育ち県民啓発

子どもが健やかに育つ環境を整えるために、テレビやラジオ等を通じて、子育てで大切にしたいことや子どもに関わる時のポイント等の情報を提供して、県民の皆様にご子育てに関する理解を深めていただく



## 結果

子育て力の向上  
良好な親子関係の構築

## 見込まれる具体的な効果

- 子どもの心の居場所ができ、自尊感情や他者への信頼感が育つ
- 主体性、基本的な生活習慣、人とかかわる力等の生きる力の基礎が培われる
- 本県の教育課題の根本的な解決につながる

### (3) 心の教育改革の取組

## 心を耕す教育の総合的な推進

(自尊感情の育成をめざして)

### 自尊感情を育成する教育の推進

(自分を大切にし、人を大切にする心の育成)



公共善を目指す  
市民性の育成

自分を認める  
心の育成

知識・技能・  
態度の体得

### 人・自然・文化等との 関わりから

感動や感謝の心を  
育てるプログラムの  
充実

- ・豊かな心や創造性を育む体験活動の充実  
(幼少期における感動体験  
モデル事業)
- ・食育・食農教育等の体験学習の充実  
(産業振興食育推進事業)

小中連携の  
システムづく  
り

- ・人間関係づくりプログラムの普及  
(不登校・いじめ等対策小中連携事業)

子どもの  
読書活動の推進

- ・自発的な読書の推進と  
読書の質の向上  
(子どもの読書活動  
推進総合事業)

⇒学校図書館支援員70名程度  
(市町村において実施)  
⇒読書環境の優しい地域に  
支援員17名

一人ひとりの教  
育的ニーズに応  
じた指導及び支  
援の充実

- 【新】特別支援教育の推進  
(巡回相談員派遣事業)

道徳の時間の充実  
(教員の指導力向上・  
学校指導体制の確立)

- 【新】道徳教育指導体制の確立  
(道徳教育重点推進校事業)
- 【新】道徳推進リーダーの育成  
(道徳推進リーダー育成事業)

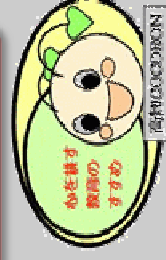
### 学校での教育課程を 通じて

### 幼児教育の推進

主体性・基本的な生活習慣・人と関わる力などの生きる力の基礎を培う

### 親育ち支援

よりよい親子関係を構築し、親の子育て力を高める  
(親など身近な大人の愛情が自尊感情を育てる)



親育ち支援推進事業

## (4) 放課後改革の取組

### 放課後子どもプラン推進事業 ～子どもたちの健やかな育ちと豊かな学びのために～

#### 「放課後子どもプラン」とは？

家庭や地域の子育て機能・教育力が低下する中、子どもたちの**健やかな育ち**と**豊かな学び**を支援するためには、放課後等の子どもたちの安全・安心な活動場所を確保することが必要です。そこで文部科学省補助事業の「放課後子ども教室」と厚生労働省補助事業の「放課後児童クラブ」をあわせて「放課後子どもプラン」とし、一体的に取り組んでいます。

#### 高知県では「放課後学び場」の充実に取り組んでいます！

県内の全ての小学校区に子ども教室や児童クラブを設置し、必要な子どもたちが参加して、放課後の生活と学習習慣が身につけられるよう取り組んでいます。

小学校では、放課後に安心して活動できる場所で、異年齢の子どもたちと学習活動や遊びを通して健やかな成長を育てています。

また、中学校では、放課後学習室を設置して、地域の方々の指導のもと、基礎学力の定着を目指して取り組んでいます。



#### 放課後学び場の設置状況

※22年度実施予定



**小学校 児童クラブ 129カ所**  
**子ども教室 111カ所**  
**計 240カ所**

※現在、約7割の小学校で実施中！

**中学校 放課後学習室 35カ所**

※現在、約3割の中学校で実施中！

#### 新規開設の支援

新規開設の「子ども教室・放課後学習室」の市町村負担分の経費を初年度のみ助成しています。

#### 学び場の充実支援

すべての児童クラブ・子ども教室・放課後学習室に、学習環境の整備や指導員の配置、図書や教材の購入などの学習活動を充実するための経費を助成をしています。

#### 支援の必要な子どもへの利用促進

就学援助をうけている児童や、保護者の養育力の不足などにより支援が必要と認められる児童を対象に、保護者利用料の免除する経費を助成しています。

#### 放課後の学び場を充実させた、新しいカタチの取り組みがスタート！

放課後子ども教室 (野市小)



放課後学習室 (日高中)



開設場所／野市小学校 地域連携室  
開催日時／毎週3日(月・水・金)15:00～17:00  
対象児童／4年～6年生  
活動の特色／地域の大学生が宿題や自由遊びのサポートをしてくれます。  
(1～3年生は児童クラブを利用)

開設場所／日高中学校  
開催日時／ほぼ毎日  
対象児童／1年～3年生  
活動の特色／生徒が希望する教科を学習アドバイザーや教員が支援し学習します。

## (5) 体力づくりの取組

<本県の子どもたちの体力・運動能力の現状>

平成21年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

体力合計点 小学校男子 40位 女子 38位 中学校男子 42位 女子 40位



子どもたちの健やかな体を育むために  
こうちの子ども体力アップアクションプラン (平成21年4月策定)

### ① 児童生徒の実態把握

### 〔新〕 体力・運動能力、運動習慣等調査事業

調査対象：小学校5年生・中学校2年生

調査内容：体力テスト、運動習慣等調査、学校質問紙調査等

平成22年度

定着の時期

<課題の明確化>

「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果等の分析

<アクションプランの評価>

中間評価及び年度末評価

<アクションプランの改善>

改訂について検討・修正

<地域と連携した実践>

県内3地域をモデル地域として指定し、効果的な方法を県内に広げる。

体力向上検討委員会

「夢の教室」の実施

夢先生：トップアスリート  
プロスポーツ選手  
メダリスト 等

プログラム

<小学校>

前半：ゲームの時間 (30分)

後半：トークの時間 (60分)

<中学校>

講演等 (50分)

派遣数：34市町村

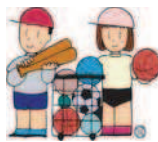


### 子どもの体力向上支援事業

### トップアスリート夢先生派遣事業

### ② 施策の方向性の検討・構築

### ③ 児童生徒の運動習慣の定着



5つの  
重点施策



### ④ 地域スポーツ人材の活用充実

### ⑤ 小学校体育授業の充実

#### 地域スポーツ人材の活用実践支援事業

<体育授業>

対象：小学校の体育授業  
中学校の武道の授業

回数：1単元に3回 (1回2時間)

方法：担任・担当教諭…T1

外部指導者 …T2

(主に技能指導を担当)

派遣数：70校

<運動部>

対象：中学校の運動部

回数：1運動部あたり30回

派遣数：70部

外部指導者の派遣推進

#### 小学校体育推進事業

小学校体育指導資料作成

タイトル：体育授業実践資料編

内容：各運動領域 (7領域 × 3事例)

1時間の指導計画

編集委員：小学校体育連盟役員

作成部数：3600部

(全小学校教諭配布)

スケジュール

4月～8月 編集会議 (4回)

8月中 入稿

9月 作成・配布

(配布後、各校で研修会実施)

結果

各学校において体力向上に向けた取組が充実し、児童生徒の望ましい運動習慣が徐々に確立され、体力・運動能力が全国水準に近づく。